

松浜軒の畳を張り替え 畳屋道場が畳奉納



▲手縫いで仕上げる姿を昔は見かけました

2月26日、全国各地の畳屋さんネットワークで活動する畳屋道場（山形県寒河江市）のメンバー13人と県内の職人4人が、国指定名勝「松浜軒」の畳34枚を手縫いで張り替えました。

張り替えに使用された畳表は、平成21年に収穫され農林水産大臣賞に輝いたイ草「ひのみどり」を長期間寝かせ、銀白色の白口と呼ばれる状態に仕上げたものです。白口は、青々とした畳表では景色が落ち着かない歴史的建築物や茶室などで用いられる逸品です。

敷川内町の山本昭一さんは「手縫いは約8年ぶりです。若い人に入ってきてもらうことで畳製作技能の伝承を図りたい」と話し、傷んだ畳表をはがして一枚ずつ手縫いで貼りつけていました。

女子プロ野球選手と交流 日本女子プロ野球リーグ 野球教室



▲【ティール大会】強い打球を意識してバッティング

2月20日に予定されていた「日本女子プロ野球リーグ ウィンターカップ」が雨で21日に延期になりました。予定されていた野球教室は20日、場所を変更して鏡町の勤労者体育センターで開催されました。市内外から多くの親子連れや野球少年少女が参加し、女子プロ野球選手と交流を深めました。

ティールバッティング用の台の上にボールを置いて打つ、試合形式の「ティール大会」や制限時間内にどれだけキャッチボールができるかを競う「つなげキャッチボール」などが行われました。山鹿市から参加した平金里奈さん（9歳）は「東北レリアの人たちが優しく教えてくれて、とても楽しかった」と笑顔で語りました。

若さが爆発

高校生フェスティバル AFTER SCHOOL



▲学校対抗アーケード障害物たすきリレーで、全力ダッシュする高校生

3月6日、本町アーケードで「高校生フェスティバル AFTER SCHOOL」が開催され、多くの高校生が参加しました。今年で6回目です。

恒例の男装女装コンテストでは、八代高校の女装した男子チームが優勝。妖しい雰囲気会場を盛り上げました。

学校対抗アーケード障害物たすきリレーでは、総延長1000mの特設コースでパン食い競争や段ボール戦車などを組み合わせての熱戦が繰り広げられ、秀岳館高校チームが優勝を飾りました。

また、目玉企画の「お化け屋敷」では、真っ暗で何も見えないコースに約120人が絶叫。秀岳館高校2年の福島晴暉くんは「怖くて力が入らない。もう絶対に入らない」と恐怖で震えていました。

理科っておもしろい

わくわく理科まつり



▲【空気の流れによる浮遊を学ぶ装置】上に流れる空気中に、いろいろな形の発泡スチロールを乗せたり、キャッチしたりする児童たち

2月29日、熊本高等専門学校八代キャンパスの出前授業「わくわく理科まつり」が郡築小学校で行われ、全校児童と同校区の保育園児らが参加しました。

これは、理科や科学への関心を深めることを目的に初めて行われたもので、ブーメラン作りやいらいら棒、じしゃくゲームなどがありました。

電流が流れるとフラッシュが光る装置「いらいら棒」で、光らないように真剣な表情で操作する児童や、ブーメランを作り、早速試して飛ばす児童など、楽しむ姿が多く見られました。吉田悠真くん（3年）は「いらいら棒が楽しかったです。今日いろいろなことをして、理科っておもしろいなと思いました」と話しました。

100歳 おめでとうございます



西島 三治さん
(鏡町)

大正5年3月15日生

鏡町で5人きょうだいの三男として生まれた三治さん。結婚して4人の子どもに恵まれました。米や麦、イ草を栽培するなど農業を営んでいた三治さんの趣味は、植物のお世話をすることです。長寿の秘訣は「一腹八分でよく動く」。



鈴木 春枝さん
(東片町)

大正5年3月13日生

現在、施設で暮らす春枝さん。宮地で7人きょうだいの5番目として生まれ育ち、結婚して4人の子どもを授かりました。得意の編み物で、子ども用の帽子や羽織り物などをよく作りました。長寿の秘訣は「体をよく動かすこと」。



田中 ミスエさん
(鷹辻町)

大正5年3月10日生

3人の子宝に恵まれたミスエさん。長男 長女が東京に住んでいるときは、こまめに手紙を書いて地元の特産物と一緒に送っていました。歌を歌うことが大好きで、テレビの前で歌を口ずさみ、周囲を楽しませていきます。長寿の秘訣は「いつも笑顔を保つこと」。



重松 三喜さん
(鏡町)

大正5年3月9日生

鏡町で6人きょうだいの次男として生まれ育った三喜さん。結婚して、4人の子宝に恵まれ、金光教の教会長を70年間務めました。俳句や読書、洋画鑑賞などが趣味という三喜さんの長寿の秘訣は「好き嫌がなく、三食きちんと食べること」。



中村 ハツノさん
(高島町)

大正5年2月25日生

2人きょうだいの長女として生まれ育ったハツノさん。結婚して、農作業を手伝いながら2人の子どもを育てました。煮魚料理が上手で、家族にも大変喜ばれました。大相撲のテレビ中継を見るのが大好きなハツノさんの長寿の秘訣は「何でもよく食べること」。

井上晴美さんの移住体験談に学ぶ 移住交流カフェ3楽しくネットワークづくり



▲移住体験を語る井上晴美さん（右）

3月12日、八代市へ移住してきた人たちと地元住民の交流の場を作るための「移住交流カフェ3楽しくネットワークづくり」が市役所で開催され、26人が意見交換を行いました。今回の特別ゲストはUターン経験者で女優の井上晴美さんです。井上さんは、移住先を決める条件を説明したり、近所づきあいのきっかけとなったエピソードを披露。人のネットワークの大切さやイベント情報などを地域住民で共有する必要性を訴えました。その後、5人ずつに分かれてワークショップを行い、「みんなで一緒にできること」を考えました。長田町の吉岡洋子さんは「順応していく勇氣が必要で、大切なのは人間関係だと思います」と移住経験を踏まえて語りました。

八代の魅力を世界に発信したい 本市出身 遠山昇司監督が映画の熊本先行上映を発表



▲作品の魅力を熱く語った遠山昇司監督

3月15日、映画監督の遠山昇司さん（鏡町出身）が、市役所で映画「マジックユートピア」の熊本先行上映を発表しました。平成27年2月に建馬町の城南鉄工所でクラクインしたこの映画は、3人の人生が交錯するストーリーで、主役も横手新町出身の米村亮太朗さんを起用するなど八代の魅力を映し出しています。遠山監督は「干拓地独特の風景やシンボルである煙突が多く登場し、スタイリッシュな映像となりました。八代の魅力を世界に発信していきたい」と熱く語りました。作品の公開はDenkikan（熊本市）で4月22日まで、本渡第一映劇で4月9日から22日まで上映されます。 ※マジックユートピア公式ホームページ <http://magic-utopia.com/>



電話お願い手帳・ふれあい速達便



▲中村市長に電話お願い手帳とふれあい速達便を手渡す川嶋一敏支店長（右）

2月25日、NTT西日本八代営業支店の川嶋一敏支店長らが市役所を訪れ、中村市長に耳や言葉が不自由な人のための「電話お願い手帳」200冊と「ふれあい速達便」50冊を贈呈しました。同社は社会貢献活動の一環として毎年行っています。

「電話お願い手帳」は周囲の人にしてほしいことを伝えるための手帳で、「ふれあい速達便」はファックス送信表です。川嶋支店長は「通信が発達しても、手帳や速達便は耳や言葉が不自由な人にとって必須です」と話しました。

塩屋町笠鉾 迎陵頻伽 寒干し



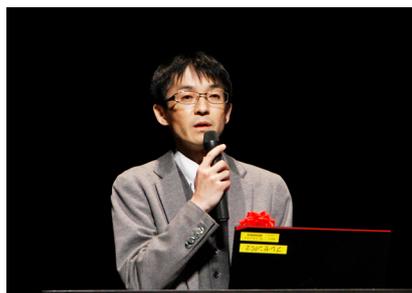
▲迎陵頻伽をいろいろな角度から観察する児童たち

2月23日、塩屋町笠鉾「迎陵頻伽」の寒干しが八代小学校体育館で行われ、全校児童が見学しました。

寒干しは、解体された笠鉾の部材を収納箱から出して並べ、空気にさらす作業で、湿気や虫を取り除くことを目的に塩屋町笠鉾保存会が毎年行っています。

並べられた部材は屋根や幕、抑え金具など約220点。児童らは「あの（部材の）形すごいね」などと言いながら興味深そうに見て回っていました。

目指せユネスコ登録 講演会



▲「八代の宝が世界の宝となることを皆で考えてほしい」と述べる前田俊一郎文化庁文化財調査官

2月21日、鏡文化センターで「2016年目指せユネスコ登録 講演会」が行われ、多くの人が出席しました。

文化庁文化財調査官の前田俊一郎氏が「八代妙見祭とユネスコ無形文化遺産と民俗文化財の保存・継承を視野に」と題し講演。ユネスコ登録に至るまでの流れや、妙見祭を含む「山・鉾・屋台行事」のユネスコ登録に向けての経過報告など、映像を交えながら説明をしました。

講演後は、上鏡獅子舞（鏡町上鏡獅子組保存会）など3つの民俗芸能の披露が行われました。

八代市消防ポンプ操法大会



▲小型ポンプ操法の部で優勝した八代方面隊第31分団（龍峯）

3月13日、八代市消防ポンプ操法大会が球磨川河川敷運動公園上流プレイ広場で行われ、市内の消防団13隊・約500人が集まり、各分団の代表66人がポンプ操法の技術を競いました。

この競技は、火点に見たてた的を倒すまでにかかる時間、動きの正確さ、機敏さなどを競います。審査の結果、八代方面隊第31分団（龍峯）が小型ポンプ操法の部で優勝。すでに内定しているポンプ車操法の部代表の八代方面隊第4分団（太田郷）とともに、8月に玉名市で行われる熊本県消防操法大会に出場が決定しました。

松中信彦選手が引退報告



▲市役所を訪れた松中信彦選手

プロ野球選手の引退を表明した松中信彦選手が3月8日、後援会長など関係者らとともに市役所を訪れ、中村市長に引退の報告をしました。

今後は、福岡を拠点にプロ野球の指導者を目指していくとのこと、プロ野球界での新たな分野に向けて活躍が期待されます。

松中選手は、平成16年12月に八代市（市町村合併前）で初めての市民栄誉賞を受賞。この年、日本プロ野球史上で18年ぶり7人目の三冠王を獲得しています。

江戸時代の八代焼にふれる



▲説明を受けながら、象嵌菊唐草文徳利（1815年 作者：上野正誠）を観察する参加者たち

2月27日、市立博物館で冬季特別展覧会「八代焼の茶道具と花入れ」の体験講座「江戸時代の八代焼にふれる」が開催され、市内外から18人が参加しました。

これは、普段、手に取ることでできない八代焼の器を実際に触れて、その風合いや質感などを肌で感じてもらうと、初めて行われました。

参加者は、18世紀（江戸時代中期）から19世紀のつくりや皿などを手に取り、興味深そうにいろいろな角度から観察し、「これは何模様ですか」など次々と質問をしていました。